2-0　GENERAL

2-0-1 FTD 訓練の目的

UND で培った技倆の Refresh、日本における Flight への Bridge 訓練、卒業レベルの向上、結果就職試験に繋がる。
Routine の操作手順だけでなく、考えた Operation を行なう、状況変化に応じた対応能力の涵養を図る。
技倆の向上のみではなく、基本的な考え方を身に付け技倆の定着を図る。

2-0-2 FTD の運用要領

FTD 訓練の 2 日前までに担当教官に各人が事前連絡の事。
十二分に準備する事。準備不足・No Show up・遅刻は訓練中止。
前日までに質問項目をまとめておく事、疑問なく訓練に臨むこと。

2-0-3 UND との違い

Aircraft Operation は UND Seminole Manual、Regulation は AIM-J に従う。
Positive Rate で Gear up、88kts の Check は必要なし。
Airwork における Propeller Control は 2500RPM。
Glide Slope Intercept ALT（FAF）を Call out する事。
VFR Traffic Pattern は高度 1,000ft、巾 1.5NM、Minimum Circle は MDA、巾 0.75NM とする。
Gear down 操作後の Lever handle に手を添える必要なし。
ATC は AIM-J に記載された Phraseology を基本とする。

2-0-4 FTD 実施における心得

挨拶・礼儀・節度を重んじること。
謙虚かつ真摯に対応し、指導項目を一つずつ具現化すること。
相手を見て話し、きっちり聞き、いい加減な返事はしないこと。
FLT 中については節目を大切に、節度ある運用、時間を大切にすること。
操作は口に出し Crew 間の Communication を図る。
Call out・手順・Checklist 等順法精神（Compliance：法令遵守）